

東京の労働力

平成18年4～6月平均結果 -

「労働力調査」(総務省所管)の東京都分について、平成18年4～6月平均の集計結果を公表します。結果の概要は、次のとおりです。

東京都の完全失業率4.1%

- ・前年同期に比べ0.9ポイント大幅低下
- ・男性が34期ぶり4%を割る(平成9年10～12月平均以来)

主な特徴 (表1、統計表第2表、統計表参考)

(労働力人口)

労働力人口は694万3千人で、前年同期に比べ18万4千人(2.7%)増加した。

- ・平成17年1～3月平均以来6期連続の増加となった。
- ・男性は6万4千人(1.6%)、女性は11万9千人(4.4%)、それぞれ増加した。

(就業者数)

就業者数は666万人で前年同期に比べ24万1千人(3.8%)増加した。

- ・男性は10万6千人(2.8%)、女性は13万5千人(5.2%)、それぞれ増加した。
- ・男性の4期連続に対し、女性は10期連続で増加した。
- ・産業別では金融・保険業以外の産業で増加となった。

(完全失業者数)

完全失業者数は28万3千人で前年同期に比べ5万7千人(16.8%)減少した。

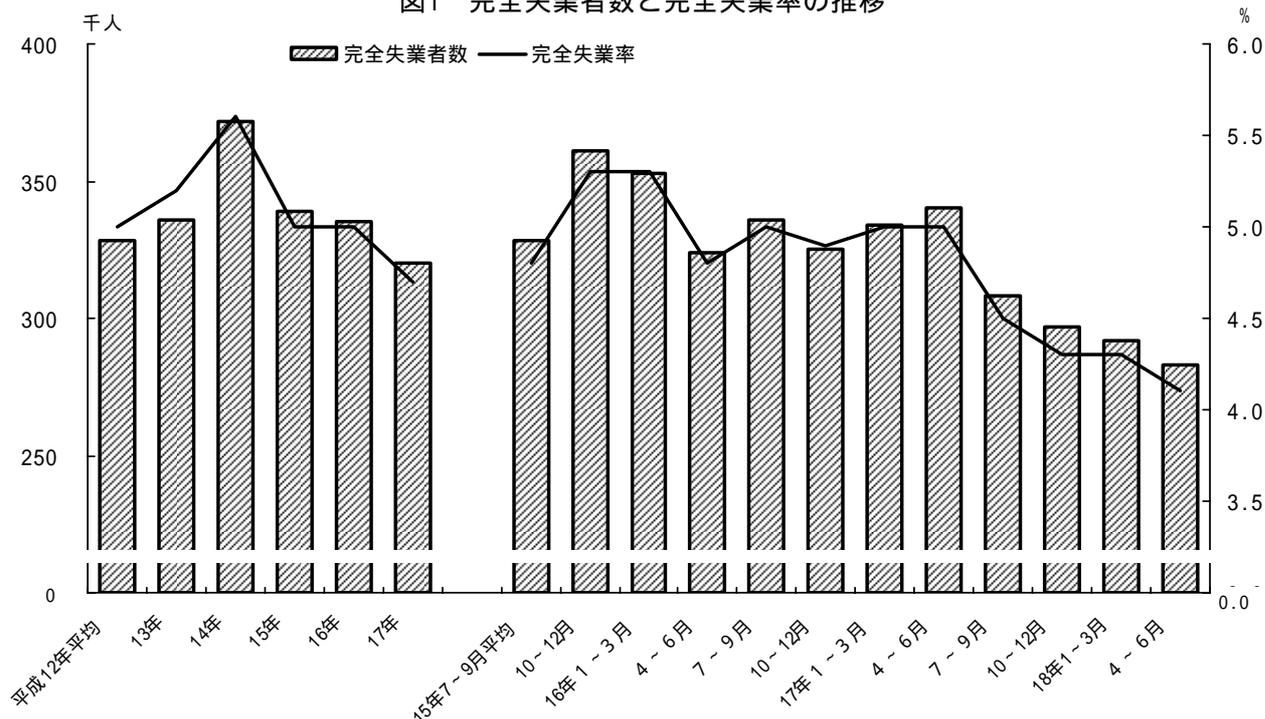
- ・男性は4万1千人(20.4%)、女性は1万6千人(11.5%)、それぞれ減少した。

(完全失業率)

完全失業率は4.1%で、前年同期に比べ0.9ポイントの大幅低下となった。

- ・2期連続、0.1ポイント全国水準を下回った。
- ・男性は3.9%、女性は4.3%で、前年同期に比べ男性は1.1ポイント、女性は0.8ポイント、それぞれ低下した。男性が4%を割ったのは34期ぶり(平成9年10～12月平均以来)。

図1 完全失業者数と完全失業率の推移



1 労働力人口

労働力人口は694万3千人となり、前年同期に比べ18万4千人(2.7%)増加した。

平成17年1～3月平均以来6期連続の増加となった。

男女別にみると、男性は409万8千人、女性は284万5千人となり、前年同期に比べ男性は6万4千人(1.6%)、女性は11万9千人(4.4%)、それぞれ増加した。

(表1、統計表第2表 P8、P9)

表1 就業状態別、男女別15歳以上人口

(単位 千人、ポイント、%)

就業状態等	男女計	男	女	対前年同期					
				増減数			比		
				男女計	男	女	男女計	男	女
15歳以上人口	11 021	5 447	5 574	93	45	48	0.9	0.8	0.9
労働力人口	6 943	4 098	2 845	184	64	119	2.7	1.6	4.4
就業者数	6 660	3 938	2 722	241	106	135	3.8	2.8	5.2
完全失業者数	283	160	123	- 57	- 41	- 16	-16.8	-20.4	-11.5
非労働力人口	4 071	1 346	2 726	- 89	- 18	- 70	-2.1	-1.3	-2.5
完全失業率	4.1	3.9	4.3	-0.9	-1.1	-0.8			

2 就業者

(1) 就業者の推移

就業者数は666万人となり、前年同期に比べ24万1千人(3.8%)増加した。

男女別にみると、男性は393万8千人、女性は272万2千人であり、前年同期に比べ、男性は10万6千人(2.8%)、女性は13万5千人(5.2%)、それぞれ増加した。

男性の4期連続の増加に対し、女性は10期連続で増加した。

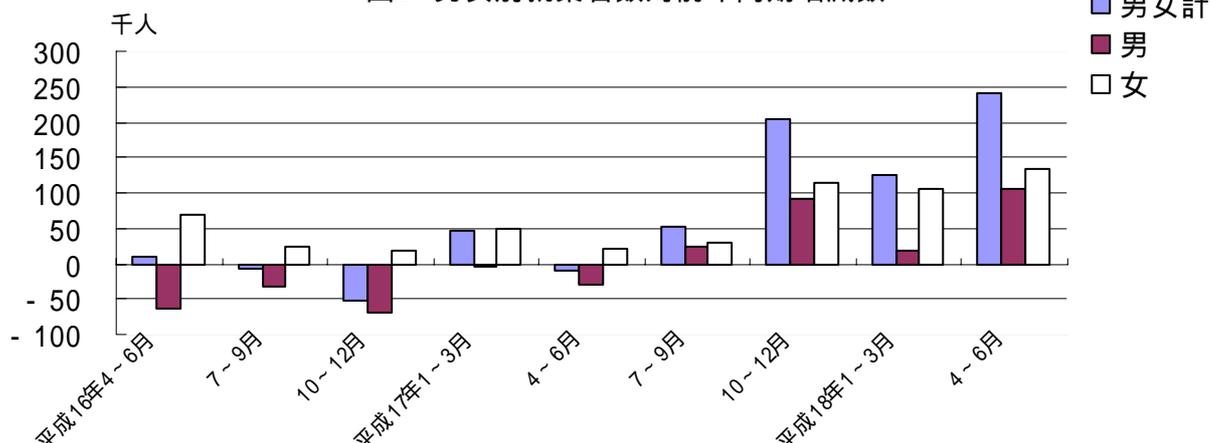
(表1、表2、図2、統計表第2表 P8、P9)

表2 男女別就業者数の推移

(単位 千人)

就業者数		16年			17年				18年	
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
実数	男女計	6 428	6 431	6 356	6 348	6 419	6 483	6 560	6 473	6 660
	男	3 862	3 796	3 795	3 821	3 832	3 819	3 886	3 839	3 938
	女	2 565	2 634	2 561	2 527	2 587	2 663	2 674	2 634	2 722
対前年同期増減数	男女計	9	- 8	- 52	46	- 9	52	204	125	241
	男	- 62	- 31	- 68	- 5	- 30	23	91	18	106
	女	69	23	17	50	22	29	113	107	135

図2 男女別就業者数対前年同期増減数



(2) 雇用者数の推移

就業者を従業上の地位別でみると、雇用者数は593万1千人となり、前年同期に比べ25万6千人(4.5%)増加した。

男女別にみると、男性は348万8千人、女性は244万4千人となり、前年同期に比べ、男性は11万7千人(3.5%)、女性は14万人(6.1%)、それぞれ増加した。

(表3、統計表第1表<P7>)

表3 雇用者数の推移

(単位 千人)

雇用者数		16年			17年				18年	
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
実数	男女計	5 664	5 666	5 529	5 520	5 675	5 643	5 752	5 722	5 931
	男	3 375	3 317	3 297	3 318	3 371	3 299	3 379	3 363	3 488
	女	2 289	2 349	2 232	2 202	2 304	2 344	2 373	2 360	2 444
対前年同期増減数	男女計	49	16	- 40	18	11	- 23	223	202	256
	男	- 75	- 34	- 61	- 13	- 4	- 18	82	45	117
	女	124	50	20	31	15	- 5	141	158	140

(3) 非農林業雇用者数

非農林業雇用者数全体では、592万6千人、前年同期に比べ26万人(4.6%)増加した。従業者規模別で見ると、「1~29人規模」は、前年同期に比べ4万7千人(2.5%)、「30~499人規模」は、14万7千人(8.5%)、「500人以上規模」は、9万5千人(5.9%)、それぞれ増加した。(表4)

表4 従業者規模別非農林業雇用者数 (単位 千人、%)

規 模	非農林業雇用者数			対 前 年 同 期					
	男女計	男	女	増減数			比		
				男女計	男	女	男女計	男	女
*総 数	5 926	3 484	2 442	260	120	140	4.6	3.6	6.1
1~29人	1 897	1 124	773	47	42	6	2.5	3.9	0.8
30~499人	1 877	1 080	798	147	74	74	8.5	7.4	10.2
500人以上	1 699	1 030	669	95	37	58	5.9	3.7	9.5

* 総数には、官公・従業者規模不詳を含む。

(4) 主な産業別就業者数及び雇用者数

就業者数をみると、「金融・保険業」は前年同期に比べ減少したが、その他の産業は増加した。雇用者数でも、前年同期に比べ「金融・保険業」は減少したが、その他の産業はいずれも増加した。(表5)

表5 主な産業別就業者数及び雇用者数 (単位 千人、%)

産 業	就 業 者			雇 用 者		
	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比
建 設 業	490	26	5.6	417	31	8.0
製 造 業	895	17	1.9	827	0	0.0
情 報 通 信 業	501	55	12.3	478	54	12.7
運 輸 業	342	77	29.1	304	68	28.8
卸 売・小 売 業	1 138	21	1.9	1 038	21	2.1
金 融・保 険 業	207	- 7	-3.3	202	- 7	-3.3
不 動 産 業	171	21	14.0	156	26	20.0
飲 食 店, 宿 泊 業	441	29	7.0	343	8	2.4
医 療, 福 祉	539	1	0.2	498	9	1.8
教 育, 学 習 支 援 業	313	16	5.4	286	23	8.7
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	1 281	45	3.6	1 088	83	8.3

3 完全失業者

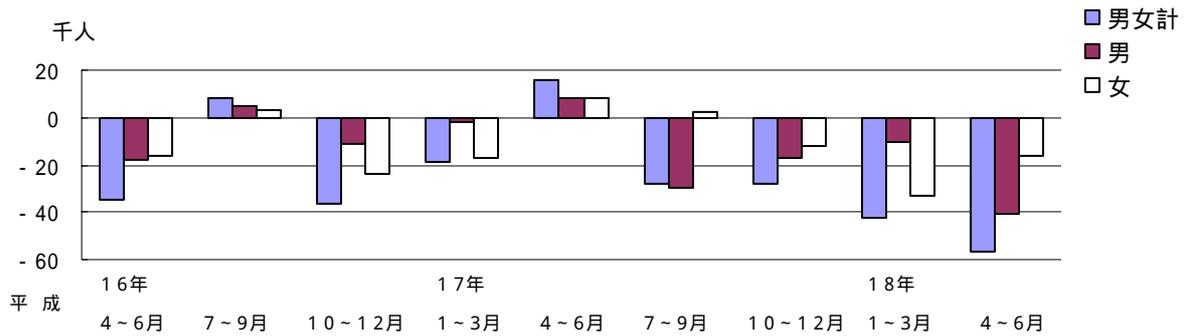
(1) 完全失業者数の推移

完全失業者数は28万3千人で、前年同期に比べ5万7千人(16.8%)減少した。男女別にみると、男性は前年同期に比べ4万1千人(20.4%)、女性は1万6千人(11.5%)それぞれ減少した。(表1、表6、図3)

表6 男女別完全失業者数の推移 (単位 千人)

完全失業者数		16年			17年			18年		
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
実 数	男女計	324	336	325	334	340	308	297	292	283
	男	193	205	200	207	201	175	183	197	160
	女	131	131	126	128	139	133	114	95	123
対前年 同 期 増減数	男女計	- 35	8	- 36	- 19	16	- 28	- 28	-42	-57
	男	-18	5	-11	-2	8	-30	-17	-10	-41
	女	-16	3	-24	-17	8	2	-12	-33	-16

図3 男女別完全失業者対前年同期増減数



(2) 完全失業率

完全失業率は4.1%で、前年同期に比べ0.9ポイント低下した。
 男女別にみると、男性は3.9%、女性は4.3%で、前年同期に比べ男性は1.1ポイント、女性は0.8ポイント、それぞれ低下した。男性が4%を割ったのは34期ぶり(平成9年10~12月平均以来)。(表7、統計表第2表<P8>)

表7 年齢階級別、男女別完全失業率 (単位 % ポイント)

区分	総数	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上	
実数	男女計	4.1	5.8	5.2	2.6	3.9	4.8	1.8
	男	3.9	5.0	5.8	1.5	3.6	5.1	2.6
	女	4.3	6.5	4.5	4.6	4.2	4.4	0.5
対前年同期増減率	男女計	-0.9	-1.8	-1.3	-1.7	0.9	-0.3	-2.3
	男	-1.1	-2.9	0.2	-2.3	0.3	-1.1	-2.5
	女	-0.8	-0.9	-3.2	-0.4	1.5	1.2	-1.6

(3) 完全失業率の全国、南関東との比較

2期連続、0.1ポイント全国水準を下回った。
 全国の完全失業率は4.2%で、前年同期に比べ0.3ポイント、南関東(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)は4.0%で前年同期に比べ0.6ポイント、それぞれ低下した。(統計表参考<P15>、図4)

